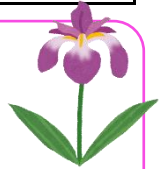


日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
	4/29(土)~5/5(金) 休校 (通信指導の返却も休止 ※)					通常授業実施
	月謝振替日					
7	8	9	10	11	12	13
	休校 月謝再振替日					
14	15	16	17	18	19	20
五木駿々堂模試 育伸テスト #締め切り	休校					
21	22	23	24	25	26	27
	休校					
28	29	30	31			
社会見学	休校					
開校時間 火~金 14:00~21:10 土 10:30~19:00 日 13:00~19:00(変更の場合有)						

★5月の予定 4/29 ~5/5 休校 (全ての授業は休講・振替無し)

5/14 五木駿々堂模試・育伸テスト 5/28 社会見学

※ 休校中は、通信指導の返却も休止しますが、提出は通常通り受け付けます。



M.access (エム・アクセス)

TEL:075-256-7739

Fax:075-256-7724

E-mail maccess@sch.jp

独断 ◆ホメオスタシスという言葉がある。恒常性と訳される。外界の変化があっても体内の生理機能(体温や血液の状態)は一定に保たれようとする生体の反応である。この仕組みは、身体のみならず、人間の精神にも存在する。これを心理的ホメオスタシスという。◆人はよほど自律的である人でない限り、ほっておくとだんだん寝る時間が遅くなり夜更かしになる。そして起きる時間は、ほっておくと段々遅くなる。「宵っぱりの朝寝坊」である。◆「起きている事に値打ちがあるから寝る時間が遅くなるのだ」というのなら、起きている時間を増やすために段々早起きにならなければならぬ。しかし、そんなことは普通はない。仕事があるから、学校へ行かなければならないから、仕方なく決められた時間に起きていて、何もしくなくていいなら、起きる時間は遅くなるばかりだ。◆これが心理的ホメオスタシスの典型例だ。起きているとずっと起きていたいし、眠っているとずっと眠り続けたい。「やる事が終わらないから起きていて」「疲れたから寝ている」というのは、多くは後付けの言い訳だ。◆人間の性格が変わらないのも、ここに理由がある。人間は生まれ持った心の働きに様々な環境の要素が加わって、人格というものが形成される。その人格に、心理的ホメオスタシスの働きによって「変えないでおこう」という強い圧力がかかる。だから、人の性格など簡単には変わらない。◆なおかつ「我思う故に我有り」、自身の思考を否定することは論理的に不可能だから、それは何があっても正しいことになってしまう。その積み重ねによって人の性格は歳をとるほどより強化され、より頑固な人間になっていく訳である。(み)